

令和 2 年度 第 2 回静岡市上下水道事業経営協議会
議事にかかるご意見・ご質問 まとめ

令和2年10月16日
静岡市上下水道事業経営協議会

議事（１）令和元年度決算見込みの報告 ご意見

No.	ご意見
1	健全な経営がなされていると思います。今回の値上げ遅延により4億8000万円の減収ということですが、予算の使途についての工夫をお願いします。
2	経理的な物は不得手のため、単純に経営が苦しい状況でなければ良。
3	水道事業、下水道事業ともに収益的収支において利益を上げていることは評価に値する。今後、水道料金値上げが4カ月延期されたことの影響がどのように出てくるのか気になるところである。
4	料金改定の効果がどの程度出るかが今後の注目点になると思います。現段階では給水原価の上昇を可能な限り抑制することが必要かと思っています。
5	年度計画の拡大表記とカラー遣いが効果的でわかりやすく、資料は見やすく役立ちました。ただ、一部 重複する点を考えると（経費削減にどのように左右するかは定かではないが）どう評価するかは難しいです。

議事（２）改善に向けた取組 ご意見

No.	ご意見
1	改善状況報告調書を作成し、課題を明確にして今後の円滑な工事の実施につなげようとする姿勢は素晴らしいと思います。
2	【浸水対策】 相変わらず事業遅れの要因として、従来通りの施工場所（生活道路、地下埋設物）の困難さが浮き彫りになっています。改善状況には、課題に取り組み、問題点が解決されたように見受けられます。しかし長期的な事業であり、この取組を十分に活用し、期限内の工事完了を目指して頂きたい。
3	【渇水対策】 この事業も埋設物による支障が工事遅れの原因となっているようです。その様な要因で投資額に比例した効果が出せていないのは残念です。改善状況の中でも、事前の地中調査を進めて行くとの内容が報告されており、当初の目的達成のため、事業効果の検証を併せてお願いします。
4	C評価を受けた渇水対策であるが、工事関係者と月1回以上の工程会議で進捗管理の徹底を図ったり住民説明会の開催等により工事内容の理解を図るなど綿密な対応がなされている。一端工事が始まるとその重要性は理解しつつも、日々の不便さに苦情が出ることも多いと思う。今後も周辺住民への理解を得ながら円滑な工事に取り組んでほしい。
5	インフラ整備は何よりも地元住民のコンセンサスが大切である。 また、通信ガス事業との相互調整もおろそかにできないが、ガス事業がガスの特殊性があって調整が難航したのか、他の地区にも関係することなので、しっかりその問題点を洗い出し、今後の事業に活かしてほしい。
6	【2-1について】 工事においては予期しない障害はあり得ることで、やむを得ないと思われるが可能な範囲でベストな選択を行うことと、他のインフラ事業者との調整等については他の事務事業でも問題点としてあげられているため、総合的に対処できる体制を整えておくことが望ましいと思います。 【2-2について】 事業の効果が発揮できるかどうかについては、今後の運用次第だと思います。
7	工事費用はトラブルが生じて日数が増えても費用の変更はないのですよね。資料のイメージは、改善状況、取り組みの様子が分かりやすいので良かった。
8	浸水、渇水対策では、想定外のトラブルが発生し、工事が計画どおりに進まないことが多いようですが、その経験と改善策を他事業や次年度に生かし、工事をスムーズに進めるよう努力して頂いていることを有難く思います。北部ルート事業の完成により、水の相互運用が可能になり、市民の渇水に対する不安が軽減されることと思います。

議事（3）外部評価方法の決定 ご意見

No.	ご意見
1	外部評価項目を絞ることは賛成です。ぜひやりたいのは新規項目と未達の理由は知りたいし審議したい。
2	外部評価方法が精選されてよかった。当日の担当者の説明も分かりやすく、今まで以上にじっくりと資料の読み取りをすることができた。
3	柔軟な評価方法案で十分に外部評価が可能と思われる。
4	絶対的にベストな評価方法はなく、限られた時間と予算、人的資源の中で最善の方法を模索するしかありません。概ね良い方向とは考えていますが、昨年までの評価作業で事務事業と施策の評価のリンクが強すぎる（事務事業の評価がほぼそのまま政策評価になってしまうような印象がある）と感じられることにやや違和感を持っています。
5	資料3, 4は参考になりました。資料5は新規役員になった時には理解しやすい資料と思いますが2年目の私には重複情報で資料がもったいないと感じました。
6	外部評価の対象を絞り込んだことで、評価対象の事業についての説明を詳しく聞くことができ、評価もしやすくなりました。

議事（５）雨水総合排水計画の更新【下水道】 ご意見

No.	ご意見
1	この度の大雨でも、以前は道路及び周辺の駐車場まで雨水があふれて浸かっていたのが雨水排水工事がなされ、ウソのように何の被害もなかったことに感謝しています。早々に計画どおり、この恩恵を展開していただきたい。
2	これからは予知できない様な雨水量となり、従来の排水では間に合わない状況に直面すると思います。静岡市の雨水対策は主に下水道部と土木部で対応されている様ですが、総合的な対策を進めて行くには、関連しそうな部局とも連携して欲しい。
3	全国各地で起きている大雨、洪水等の被害を見るたびに本市の対策が気になるところです。令和 1 2 年度までの対策及び令和 2 2 年度までを見据えた計画に期待をします。
4	我が市が降雨強度で政令市の中でトップであることは知らなかった。近年の温暖化、自然環境の変化のなかで万全の方策を求め、整備水準の向上に早急に取り組んでもらいたい。
5	ハード対策としてやらざるを得ないと考えています。しかしながら、年々降雨が激しくなっており、今後、今以上に激しい雨が降るようになった場合にハードだけで対処できるか不安に感じます。
6	簡単明瞭で とても分かりやすい記載方法で良かったと思います。
7	近年、今までに経験したことのない雨量により被害を受けている地域が増えているので、現在の気候変動や地域の実状に合わせて、柔軟に計画を変更していくことは不可欠だと思います。

議事（6）第4次中期経営計画・経営戦略の見直し（谷津山配水池、中町浄水場・配水池） ご意見

No.	ご意見
1	谷津山配水池は私の住んでいるところに近く、今後どのようにされるのか心配でしたが、安全を考えながら早急に方針を決めてください。
2	人口減少、水需要の弱まりという現在の傾向を踏まえると賢明な判断だと思います。安定供給という観点からは多少の不安も感じますが、全体的に見ればプラスの効果が得られる可能性が高いとみています。
3	検討段階であるにもかかわらず情報提供いただきありがとうございます。 今後としては、変更に伴う新たな費用や予備力としての余剰水量の状況等が分かる資料もいただければ、すでに耐震化事業を開始している谷津山配水池の活用等も含め、委員として意見を出しやすいかと思われま。
4	費用をかけずに既存施設で補えるというのは、すばらしいと思います。また安心もできます。しかし万全を期すための余力の確保を計画に計上すべきだと思います。資料が大きくて見やすかったのですが、1ページ目はA3でなくてもA4で良かったと思います。またカラーも使い過ぎで印刷コストを上げているのではないのでしょうか。経費節約のためには、拡大版の選択を適切にすることを望みます。
5	2つの浄水場、配水池の廃止によって、市民の水需要に影響が出ないことが検証されるようでしたら他に予算と時間を有効に使えるよう見直しを行うことは経営戦略として必要だと思います。 廃止については、市民への説明が不可欠と思いますが、2枚目の資料の地図を見ると、見た目の印象として、谷津山配水池は廃止しても安心して水の供給を受けることができるという印象を受けますが、中町浄水場・配水池の方は、常に十分な水が確保できるのか、不安に感じられる印象があります。 北部ルートにより予備力の確保ができるということですので、そのような表記をするなど、地図を見て安心できる説明があるとよいと感じました。

その他ご意見・ご質問等

No.	ご意見
1	今回の会議のソーシャルディスタンスの取り方には感心しました。しかしTV会議ができるのであればその方がより安心ですが。
2	上下水道は市民のライフラインであることは間違いありません。 不測事態が発生したときの情報提供（正確な）は必須です。 非常にやりにくい事業に取り組まれている事には感謝致しておりますが、確実な前進をお願いします。
3	本協議会での局職員の皆様方には懇切丁寧な資料と口頭による説明をいつもありがとうございます。 更に私の個人的希望ですが、もう少しゆっくり説明していただければと思います。ただ時間も限られていますので、その辺も考慮されてのことかとも存じます。

令和2年度 第2回上下水道事業経営協議会 議事（4）以外のご質問への回答

No.	議事	ご質問	回答
1	議事（1） 令和元年度 決算見込み の報告	政策4 新たな納入方法の導入がされましたが、利用者は実際にどのくらいいるのでしょうか？また、手数料はどのようになっているのでしょうか？ (落合委員)	回答課 お客様サービス課 水道料金及び下水道使用料の新たな納付方法の導入で、スマートフォンを利用した納付方法は今年度6月からの導入により、6月は64件（全体件数の0.18%）、7月は832件（同2.36%）、8月は886件（同2.82%）の利用がありました。また、手数料についてはコンビニエンスストア収納と同じ徴収事務委託契約内での取扱いでコンビニエンスストアと同額手数料（1件あたり税抜き51円）です。
2	議事（1） 令和元年度 決算見込み の報告	政策5 水道料金の値上げは、コロナの影響によって経営が厳しくなっている、飲食店や大口事業者にとって大きな負担とならないでしょうか？ (落合委員)	回答課 経営企画課 料金改定の時期を延期したものの、水道料金の支払に負担感が増しているコロナ禍での『値上げ』になりますので、使用者からの厳しい声にも真摯に向き合いながら、改定の必要性について理解が得られるよう説明に努めていきます。支払いが困難な方たちには、納付猶予の相談に引き続き応じてまいります。
3	議事（1） 令和元年度 決算見込み の報告	P 4 政策5 上下水道共に財政が健全であることはわかりますが、“目標どおり”の企業債残高を適正に管理しているとのことですが、企業債残高の適正管理の程度をはかる目安は？ (適正規模はどんな基準で設定されたのでしょうか) (狩野委員)	回答課 経営企画課・下水道総務課 (水道事業) 企業債残高の目標設定に際しては、企業債の新規発行（借入）が総務省の同意基準では起債対象事業費の100%としているところ、中期経営計画では起債対象事業費の70%を発行（借入）するものとして積算し、企業債の増加を抑制することで得られる残高としています。70%の発行額は、投資（資本的支出）の財源となる企業債以外の財源（補てん財源）が急速かつ著しく減少することなく、各年度の投資事業費に見合う残高を常に確保出来ている財務状況を維持するものです。 (下水道事業) 下水道は巨額の費用が必要であるため、現在の利用者のみ負担をさせることなく、企業債の借入によって、利用者世代間の負担の公平を図る意図がございます。とはいえ、本市下水道事業は、現在の事業規模に対し企業債残高が高い水準となっており、企業債残高の削減が課題となっています。現在の使用料水準を維持できるよう計画的な借入を実施し、企業債残高を削減に努めています。

No.	議事	ご質問	回答
4	議事（1） 令和元年度 決算見込み の報告	P 6 上段枠内 経費回収率のなかの3行目私費とは受益者が負担すべき費用のことでしょうか。“私費”ではなく“受益者が”の方がベターでは。（狩野委員）	<p>回答課 下水道総務課</p> <p>私費とは受益者が負担すべき費用にあたるため、ご指摘のとおり「受益者」の方がより分かりやすい表現であると考えます。 今後の資料作成にあたっては、市民の皆さまに伝わる文章表現に努めてまいります。</p>
5	議事（1） 令和元年度 決算見込み の報告	下水道事業の経費回収率（低い）、汚水処理原価（高い）要因は？（高山委員）	<p>回答課 下水道総務課</p> <p>前年度と比較した際の要因としては、以下のものが考えられます。 ・汚水処理費用のうち、浄化センター等の維持管理費及び減価償却費が増加したため。 ・公費負担（一般会計からの繰入金）が減少したため。 政令市等と比較した際の要因としては、以下のものが考えられます。 ・他政令市よりも下水道の処理区域内における人口密度が低く、処理区域内の下水道整備するための費用と維持管理をするための費用を多額に要するため。</p>
6	議事（2） 改善に向けた 取組	濁水対策として「北部ルート」が完成したことは喜ばしい。「南部ルート」と「北部ルート」を合わせて、1日当たり清水区の約14,000世帯分の水を送ることが可能になったというが、これは清水区全体の何%に当たるものか教えてほしい。（江川委員）	<p>回答課 水道基盤整備課</p> <p>清水区の令和2年8月時点での総世帯数は104,720世帯です。約14,000世帯は清水区全体の約13.4%となります。なお、14,000世帯の内訳ですが「南部ルート」は3,000 t /日で約4000世帯、「北部ルート」は7,000 t /日で約10,000世帯となっています。</p>

No.	議事	ご質問	回答
7	議事（2） 改善に向けた取組	<p>施策2 浸水対策</p> <p>周辺住民の生活や事業所の営業に配慮しながら工事を進めているとのことですが工事期間の遅延が長く毎日道路を掘り返し埋めるという作業を見せられて何とも効率の悪い、何をしているのか、という印象を受けています。作業状況のPRももっと丁寧をお願いしたい。（小塩委員）</p>	<p>回答課 下水道建設課</p> <p>雨水渠整備では、浸水被害の軽減を目的に、道路下に水路を埋設していく工事で、大きいもので横1.8m・縦1.1mの水路、延長は長いもので約500m以上もあり、工事が完了するまでに多くの時間が必要となります。また、工事箇所の道路には、ガス、水道、下水道、通信など、地下埋設物が既に埋設されており、水路工事に着手する前までに、支障となる地下埋設物を移設する必要があります。</p> <p>工事期間の遅延が長期化した理由は、周辺住民の生活や事業所の営業に配慮しながら工事を進めるための地元調整や地下埋設物移設の調整・工事に不測の日時を要したためです。</p> <p>水路工事を実施するほとんどの箇所が、住宅地内の生活道路や交通量の多い幹線道路であることから、工事中も普段とかわらない生活や営業をして頂けるよう地元調整を行い、1日の工事実施時間を制限するなど地元で配慮しながら工事をするなど出来るだけ近隣住民に負担をかけないよう工事を進めています。</p> <p>毎日道路を掘り返す理由として、地下埋設物の移設工事があります。</p> <p>地下埋設物の移設にはそれぞれの専門性を有する工事業者が施工を行う必要があることから同調工事が難しく、順に移設工事を実施するため、何度も道路を掘り返すこととなります。設計時には、地下埋設物の移設工事がなるべく少なくなるよう水路の位置を検討していますが、埋設できるスペースが限られていることから、やむなく地下埋設物を移設した後、水路工事に着手しています。なお、同調工事が可能な箇所は、工事期間の短縮に努めております。</p> <p>今後はご指摘のとおり、工事が長期間に亘るものについては、工事の内容や進捗状況がわかる看板の設置等により周知を図って参りたいと考えています。</p>
8	議事（2） 改善に向けた取組	<p>工事費用はトラブルが生じて日数が増えても費用の変更はないのですよね。資料のイメージは、改善状況、取り組みの様子が分かりやすいので良かった。（宮下委員）</p>	<p>回答課 下水道建設課</p> <p>基本的には、日数が増えても費用を増額する変更は致しません。</p> <p>改善状況、今後の取組について、ご理解頂きありがとうございます。今後もわかりやすい資料作りに努めて参ります。</p>

No.	議事	ご質問	回答
9	議事（５） 雨水総合排水計画の更新【下水道】	財政面等の裏付けをどのように考えているのでしょうか。（江川委員）	<p>回答課 下水道計画課</p> <p>令和12年度までは、経営戦略にて試算した浸水対策に係る投資額としております。令和13年以降は裏付けはありませんが、更新後の計画では、浸水する範囲をシミュレーションにより明らかにし、未整備地区であっても浸水被害が発生しないようであれば、整備を先送りするなど、大きな浸水が想定される地区に重点投資し、効率的かつ効果的な対策を進めます。</p>
10	議事（６） 第４次中期経営計画・経営戦略の見直し	今後、ダウンサイジングへの取組みは重要となります。現時点で、跡地利用（発電システムなど）や売却など、何かお考えでしょうか？また、都市計画法など諸々の法律上の土地利用の用途制限などはありますか？（内野委員）	<p>回答課 経営企画課</p> <p>廃止を予定している施設の跡地利用については、現在検討中です。民間事業者のノウハウなどの導入可能性や、跡地の施設の周辺状況に適した有効活用の方法を検討し、新たな収入の確保につなげていきたいと考えています。</p>
11	議事（６） 第４次中期経営計画・経営戦略の見直し	中町浄水場・配水池の運転停止による地域住民への影響はどの程度なのか。安心・安全な水の供給をしてきた静岡市の水道事業である。谷津山配水池の廃止を含め、市民に大きな影響を及ぼさないように検討してほしい。（江川委員）	<p>回答課 経営企画課</p> <p>運転停止による直接的な市民への影響の例として、平常時における水圧低下がありますが、必要な水圧は確保するため、市民生活への直接的な影響は生じないと考えています。</p> <p>また、間接的な影響として、非常時のための予備力の確保がありますが、老朽化が進み、耐震化もされていない施設の継続使用は、予備力よりも事故リスクの方が高いと捉えています。</p> <p>このようなことから、市民に大きな影響を及ぼさないよう、現在策定中の水運用計画の中で、廃止だけでなく、必要な予備力の確保についても検討を進めており、引き続き安心・安全な水の供給に努めていきます。</p>

No.	議事	ご質問	回答
12	議事（6） 第4次中期 経営計画・ 経営戦略の 見直し	2 課題 2 施設管のダウンサイジングや配置等の見直し、統廃合が織り込み済みではないということですが、この点は局内部で検討の余地があるということですか。問題点は今後の方向性の中に一部盛り込まれていると思いますが。（狩野委員）	<p>回答課 経営企画課</p> <p>御質問のとおり、検討の余地がある部分について施設・管のダウンサイジングや配置等の見直しを進めております。谷津山配水池の配水能力を精査し、配水エリアが重複する他の配水池との役割を見直した例のように、各施設の設置当時の役割と、現状必要な配水能力を比較し、適正な施設配置・規模の検討を進めていきます。</p>
13	議事（6） 第4次中期 経営計画・ 経営戦略の 見直し	<p>水道管の老朽化は致し方ないと思いますし、果てしなく続く工事と思えます。どの配管も大事で、新設取替は大事ですが、今回の興津袖師地区の水道水濁りの原因となったのは、一番大事な取水口から浄水場へのメイン配管の不備です。</p> <p>老朽化対策に取り組まれていなかったとも聞きますが？</p> <p>廃止決定も早かったことには地元として不信感を持っております。（高山委員）</p>	<p>回答課 経営企画課</p> <p>老朽化した水道管の更新事業について、果てしない事業量の課題についてご理解いただきありがとうございます。</p> <p>清水区清池の取水口から中町浄水場・配水池への管（導水管）及び配水池から各家庭へ向かうメイン管（配水本管）の中で配水本管は、事故が発生すると地域全体への水道水供給が即時停止となる可能性が高いことから、市民生活への影響が最も大きいため、更新工事を進めてきました。また、導水管は延長約9kmにも及ぶものですが、国道52号や狭小な甲州街道での更新が困難であること、中町浄水場・配水池は和田島配水池及び大平山配水池で代替が可能なことなどから、数年後には廃止する方向で考えていました。</p> <p>このような検討を進めていたことから、事故後の対応として、総合的に判断を行い廃止の方向性を示しました。</p> <p>漏水量の急増により断水の可能性があったことから、周知作業もままならず実施に追い込まれてしまったため、地元の皆様に不信感を抱かせてしまいました。今後は、早期に周知等をさせて頂き、説明責任を果たすことで信頼回復に努めていきますので、よろしくお願いいたします。</p>

No.	議事	ご質問	回答
14	議事（6） 第4次中期 経営計画・ 経営戦略の 見直し	近年は人口減少等により施設規模の見直し等の必要性が高まっている一方で、想定を超える災害が発生することも珍しいことではなくなってきました。谷津山配水池について、城内、麻機、松富第2の3池で非常時に必要な予備力を十分確保可能とされていますが、この非常時とは、どのような災害が発生して水道の配水機能にどのような障害が生じ、それがどのくらいの期間にわたって続くことを想定されているのでしょうか。（森田委員）	<p>回答課 経営企画課</p> <p>非常時とは、地震、濁水、管路・施設事故及び水質事故の時と考えています。最も厳しい非常事態としては、南海トラフ地震時を想定しており、被災時には、市内全域において断水することを想定しています。これらの復旧時期について、市域全体の明確な期間の回答は困難ですが、谷津山配水池が被災した場合を具体的に想定した場合、基幹管路も含めて耐震化がされていない老朽化施設であり、復旧までに長期間を要することが想定されます。これに対し、城内・麻機・松富第2配水池は耐震化がすでにされているため、被災箇所は限定的であり、早期の復旧が可能と考えています。</p> <p>このようなことから、谷津山配水池を廃止しても、その他の非常時も含め、城内・麻機・松富第2配水池の連携により、必要な予備力は、十分確保が可能であると考えています。</p>
15	その他意見・質問	評価基準は%区分による定量評価です。評価は、成果指標の数値（%）に基づいて行いますので、その数値の算出方法がわかるよう計算式をすべて明記をお願いします。（内野委員）	<p>回答課 経営企画課・下水道計画課</p> <p>資料4[R1事務事業評価（成果指標）数値目標があるもの 算出根拠一覧]のとおり</p>
16	その他意見・質問	不勉強で申し訳ありませんが、水道法改正に伴い、水道事業者には市民への経営情報等の発信が求められているところでありますが、市民・お客さまに対して、事業の進捗・経営情報（経営評価の結果の公表等も含め）を分かりやすく発信するツール等は、実施されていたり、予定されていたりするのでしょうか。（浦松委員）	<p>回答課 経営企画課</p> <p>経営情報の発信として、既に平成31年3月に「静岡市上下水道事業経営戦略（水道編）」を策定・公表しております（計画期間：令和元年度～令和12年度）。これは総務省からの要請（平成26年～）により「公営企業が、将来にわたって住民生活に重要なサービスの提供を、安定的に継続するために経営戦略を策定・公表」したものであり、今回の水道法改正はこのような経緯によるものです。</p> <p>経営戦略については、策定して終わるものではないため、毎年度事業の進捗管理を行い計画とのギャップを見定め、定期的な改定を進めていきます。</p>